



# 文化部発表会にお越しいただきまして ありがとうございました！

去る3月21日（水）春分の日に、瑞浪高等学校文化部発表会が実施されました。演劇部は13:00より上演をしましたが、多数の方のご来場をいただき、また、感想用紙もお出しいただきました。HPからではありますが、お礼を申し上げます。

写真を交えて、今回の上演を振り返ってみたいと思います。



上演作品 **島元要作「出停記念日」**

（晩成書房『高校演劇 selection2004 上』所収）



新メンバーになって、三つめの作品。初めて既成脚本に挑戦しました。沖縄の高校が全国大会に出場した作品で、ネットで検索すると、その後多くの学校によって上演されていることが分かる、優れた作品です。



ただ、自分達のために一から作ったものでない脚本を読み解いていくのは、想像以上に大変なことでした。最後まで「これで自分達のものになった」という確信が持てないままの上演となり、まだまだ力不足であることを反省させられました。演じることにはだんだん慣れてきた上、初舞台の部員も頑張ったので、今までで一番滞りのない上演となりましたが、達成感という意味では十分でなく、発声練習など基礎の不充分さも再確認しました。

これを機に、来年度の活動にもっと厳しさをもっていこうという覚悟を、その日の夕方の打ち上げで固めました。

## 感想用紙より

全校生徒に観てもらって、互いに考えて欲しいほど良い作品を演じられたと思います。一生懸命活動してゆけば、部員も増えることでしょう。続けて達成することで各自の自信になることだと思います。大きなホールで演じるためにも、発声練習をもっとするとよい。途中までの流れも良かったし、一人一人の演技力があったので、すごく役の感じがつかめました。でも、終わり方が微妙だったので、もうちょっと良くできたらいいと思います。セリフ、音響、流れとも、大変良かったと思います。練習量もけっこう頑張っているのかな。静かな劇だからこんなものかと思いますが、発声の訓練をして生の声が観客席にもう少し届くようになるともっと良いと思います。

動きやつっこみを入れる所で、手や足の動作を使って表現していたので凄いと思いました。それに、言葉の一言一言がはきはきとして聞こえやすく、わかりやすく工夫している所があってよかったです。

練習お疲れ様でした。5人だけの舞台とはいえ、臨場感のある劇でした。友人関係が希薄になっている今、遠くにいても誰かが誰かを思うことが、とても大切だと改めて思いました。



瑞浪高校演劇部では、もっともっと芝居を楽しんでいこうと思っています。これを目にしてくれている新入生の皆さん、是非、入部してください。一緒に舞台を楽しみましょう。